

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	108 伊賀線活性化促進	会計	01	一般会計
基本	49 広域的な道路・交通環境を整備する	款	02	総務費
策		項	01	総務管理費
		目	06	企画費
細目	5 (近鉄)伊賀線の利用促進	細目	102	地域振興経費
細々目		19	伊賀線活性化促進事業	
基本計画該当頁		177		行革大綱の重点事項番号
		6・7		
担当部課	コード 040100 名称 企画調整課	評価者氏名	西岡 幸彦	連絡先 22 - 9621 (内線) 2115

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業目的 ・高校生、老人等を中心とする伊賀線を利用する人及び市民、市外から上野を訪れる観光客 ・伊賀鉄道 (※対象件数)	上下分離方式により運営する伊賀線の運行存続を図るとともに、利用を促進することで収支を改善し、将来にわたって伊賀市の背骨としての機能を果たす。
根拠法令・要綱等 開始年度 平成 19 年度 終了年度 平成 年度	関連事業
事業内容 伊賀線活性化協議会事業委託(キャラー列車ほか利用促進及びPR事業) 伊賀鉄道運営補助(伊賀市、伊賀鉄道、近鉄の確認書に基づく再生計画の推進(伊賀鉄道再生計画に基づく利用促進事業等の実施)) 児童等団体利用助成(市内小中学生、幼稚園児等の団体利用補助) 表作成等利用促進	状況変化等 平成19年3月に伊賀鉄道株式会社が設立され、同年10月1日に開業した。伊賀鉄道が運営を行う第2種事業者、近畿日本鉄道が設備等を保有・貸与する第3種事業者として伊賀線を運行している。県立高等学校の統合と入学定員削減による利用者の減や中学校統合によって通学利用が伊賀線から通学専用のスクールバスにシフトするため今後の運営状況は依然厳しい。伊賀市や伊賀市名張市広域行政組合による行政の支援に加えて、企画切符の発売や事業者の努力や高校生の参画などにより伊賀線を支えていく雰囲気醸成されつつある。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
損失の削減(運営補助、利用促進)	百万円	目標	—	目標	△350
		実績	—	実績	△(300)※
		目標	—	目標	
		実績	—	実績	
		目標	—	目標	
		実績	—	実績	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
経常損失額	将来にわたって持続的に運営するためには損失を縮小しなければならない	百万円	目標	—	目標	△350
			実績	—	実績	△(300)※
			目標	—	目標	
			実績	—	実績	

※平成19年10月開業のため、下半期150を倍にした数字

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	年間の経常損益は約3億円を計上しているが年間220万人が利用しており、地域における必要性は大きい。また、環境負荷軽減の観点からも鉄道が見直されている。
有効性	3	主要な利用者である高校生の通学定期は割引率が高いため、利用者数が収入に反映しきれない問題がある。19年度当初において車両故障による区間運休が発生したように、車両老朽化による安全面での不安があり、21年度以降の設備投資(車両更新)を行うことで安全な輸送を行うことができる。対自動車の点では単線であるため速達性に劣るが、ラッシュ時には一度に約450人を運ぶ列車もあり道路渋滞の緩和などにおいても効率的な輸送を行っている。
達成度	4	路線を維持については目的を達成したが、収入面については伊賀鉄道開業前の先買いが多く結果が見えない。
効率性	3	毎年度の赤字額の2分の1が6,000万円以下(H19は2,500万円、22・21は5,000万円)になれば補助額が軽減される。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	拡大	再生計画の推進に努め、老朽車両の置き換えを推進する。

進捗状況	年度	平成18年度 決算内容			平成19年度 決算内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成23年度 計画内容								
		事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)						
委託	↔	伊賀鉄道運営補助		25,000	伊賀鉄道運営補助		50,000	伊賀鉄道運営補助		50,000	伊賀鉄道運営補助		60,000	伊賀鉄道運営補助		60,000	伊賀鉄道運営補助		60,000						
		伊賀鉄道出資金		1,000	伊賀鉄道出資金		1,000	伊賀鉄道出資金		2,300	伊賀鉄道出資金		48,000	伊賀鉄道出資金		48,000	伊賀鉄道出資金		48,000						
		伊賀線活性化協議会事業委託		480	伊賀線活性化協議会事業委託		914	伊賀線活性化協議会事業委託		914	伊賀線活性化協議会事業委託		500	伊賀線活性化協議会事業委託		500	伊賀線活性化協議会事業委託		500						
		児童等団体利用助成		40	児童等団体利用助成		500	児童等団体利用助成		500	児童等団体利用助成		500	児童等団体利用助成		500	児童等団体利用助成		500						
		地域振興基金		20,000	地域振興基金		521	地域振興基金		521	地域振興基金		200	地域振興基金		200	地域振興基金		200						
その他利用促進等	↔	その他利用促進等		489	その他利用促進等		460	その他利用促進等		400	その他利用促進等		400	その他利用促進等		400	その他利用促進等		400						
		補助金事務及び車両更新等旅費			補助金事務及び車両更新等旅費			補助金事務及び車両更新等旅費			補助金事務及び車両更新等旅費			補助金事務及び車両更新等旅費			補助金事務及び車両更新等旅費								
大阪線接続時刻表			大阪線接続時刻表			大阪線接続時刻表			大阪線接続時刻表			大阪線接続時刻表			大阪線接続時刻表			大阪線接続時刻表							
事務費等			事務費等			事務費等			事務費等			事務費等			事務費等			事務費等							
進捗率(%)																									
事業費計(A)			Σ	0	事業費計(A)		Σ	47,008	事業費計(A)		Σ	54,695	事業費計(A)		Σ	99,600	事業費計(A)		Σ	109,600	事業費計(A)		Σ	109,600	
事業投入人員		人件費(B)		人	0	人件費(B)		0.5	人	3,600	人件費(B)		0.5	人	3,600	人件費(B)		0.5	人	3,600	人件費(B)		0.5	人	3,600
フルコスト(A)+(B)				0				50,608					58,295												

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	0	47,008	54,695	99,600	109,600	109,600
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債				45,600	45,600	45,600
受益者負担						
その他						
一般財源	0	47,008	54,695	54,000	64,000	64,000
計	0	47,008	54,695	99,600	109,600	109,600
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率			合併特例債 48,000千円×95%	合併特例債 48,000千円×95%	合併特例債 48,000千円×95%
	地方債の区分と充当率等					